

令和3年度

学校関係者評価 報告書

学校法人 青池学園

富山調理製菓専門学校

富山調理製菓専門学校 学校関係者評価報告

学校法人青池学園 富山調理製菓専門学校は、教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について自己点検・自己評価を実施し、「令和3年度 学校自己点検・自己評価報告書」を取りまとめ、当校のホームページに公表いたしました。

また、学校関係者評価委員会におきまして、当校に関連する企業・業界の方々や教育関係者の皆様より当校の学校教育及び学校運営に対し、幅広くかつ的確なご意見、ご指導を賜りました。頂戴いたしましたご意見等につきましては「令和3年度 学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後は、委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を真摯に受け止め、大いなる気づきとし、社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質の保証及び向上を目指し、教職員一同邁進して参る所存でございます。

関係者の皆様には、今後とも尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年9月1日

学校法人 青池学園
富山調理製菓専門学校
校長 神田 聡

令和3年度学校関係者評価委員会 開催概要

富山調理製菓専門学校

1 開催日時

令和4年8月23日(火) 16:00~17:30

2 開催場所

本校6階会議室

3 出席予定者(学校関係者評価委員会委員一覧表)

	学校関係者評価委員	所 属	役職名
1	西能 淳	(外部委員) 特定医療法人財団五省会	理事長
2	荒井 公浩	(外部委員) 学校法人荒井学園	理事長
3	川島 一郎	(外部委員) 株式会社斉藤経営	所長代理
4	青池 浩生	学校法人青池学園	理事長
5	神田 聡	富山調理製菓専門学校	校 長
6	中島 克己	富山調理製菓専門学校	教務課長
7	鈴木 敦史	富山調理製菓専門学校	教務課長
8	玉井 由紀子	富山調理製菓専門学校	事務局長

4. 学校関係者評価委員会次第

- ① 開会
- ② 理事長挨拶
- ③ 学校関係者評価委員紹介
- ④ 本校教職員紹介
- ⑤ 委員長選任
- ⑥ 自己点検・評価結果についての説明
- ⑦ 意見交換
- ⑧ 閉会

5. 富山調理製菓専門学校「令和3年度自己点検・自己評価報告書」に関する審議・評価
 〈自己点検・自己評価について〉

評価項目	評価・意見
基準1 教育理念・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念・目標は入学時に伝えている。2年制のため、授業内でも定期的にキャリア支援を行っている。 ・理念の共有は重要と考えている。各教員・職員についてもいろいろな場で共有している。社員証にもカード(クレド)を入れ、常に意識して業務にあたるようにしている。
基準2 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営においては、S-wing・desknet'sを導入し、ペーパーレスやデジタル化を進めている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったが、最近外部のイベントに参加する機会が増えてきた。教職員の勤務管理もデジタル化により確認が容易となった。
基準3 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価を専任教員の担当科目より実施。前年度に得られた授業評価により新たなアクションプランを立案。外部講師の先生方との連携を密にし、ご意見もいただきながら改善に努めている。
基準4 教育成果	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は調理・製菓ともに就職率100%を達成。コロナ禍において影響が懸念されたが100%を維持できており、今年度もさらに求人数が増加している。ホテル業界などの景気回復が見込まれる。 ・製菓衛生師国家資格合格率は、(令和2年度)78.3%(令和3年度)93.3%と改善している。
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学生支援については、1年次から定期的に企業説明会を開催し、学生の就職に向けた意識を改善していけるように取り組んでいる。 ・退学率が悪化。志望進路の変更や体調不良などでの退学が増えた。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップはコロナ禍のため減少。製菓技術科についてはクリスマスシーズンに実施している。 ・定期的に防災訓練を実施し、災害に備えている。
基準7 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生数は毎年増加している。 ・就職率は100%を維持している。ホテル、学校給食などへの就職が多い。製菓技術科は全員製菓関連に就職している。 ・ホテル業界に関しては、教員のつながりや協会関連のつながりにより多くの就職口をいただいている。富山においてホテルの建築が増え、また卒業生の離職も少ないことから評価を頂いている。集団給食は人材が不足している。 ・HP/ブログ/インスタグラムを継続的に活用していきたい。広報担当と連携して手段を検討していきたい。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・学生数が毎年増えている。入学者確保が財務基盤の安定化に必須なので、教職員全員が意識して取り組みたい。 ・ホームページにて財務状況を公開している。就学支援新制度の要件の一つ

	にもなっている。
基準9 法令等の遵守	・法令等の遵守については、個人情報の管理を徹底。学生のSNS・LINEの使用についても継続的な指導が必要であり、また学生との連絡の取り方についてもGoogle classroomの活用を図っている。
基準10 社会貢献・地域貢献	・新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが減っていたが、最近は増えてきている。積極的に地域のイベントに参加していきたい。

6. 今後の取組み

各委員からの貴重なご意見、ご要望を真摯に受けとめるとともに、当面する課題を検討・改善し今後の教育活動に生かして参りたいと思います。特に専門職を目指すためのより実践的なカリキュラムの充実、本学園の教育方針である「人間力」、「実践力」、「社会力」の3つの力の育成に向け指導を徹底することなど、令和4年度中にさらに体制を強化し、学校運営に活用して、より良い教育の実践を通して学生の育成に努めます。

以上